

Information

災害時に妊産婦・乳幼児を守るためのツール

9月上旬の「平成27年9月関東・東北豪雨」では、鬼怒川の堤防が決壊するなどして甚大な被害が出ました。改めて、災害時の母子対応について考えた方も多いのではないでしょうか。

産婦人科医師、吉田穂波さん（国立保健医療科学院）は、東日本大震災の避難所で母親や保健師に行なった聞き取り調査や海外約60か国の報告書を参考に、災害時の妊産婦や乳幼児に必要な備えとなる8つのツールを作成しました。以下にいくつかを紹介します。

非常袋に入れる物品や連絡先を書き込める「あかちゃんとママを守る防災ノート」（東京大学・春名めぐみさんとの共監修）、妊娠中だからこそ気をつけたいポイントが

まとめられている「妊産婦さん向け防災パンフレット」は、子育て世代が自助力や受援力を高められるように作成されました。対象者に配布するほか、両親学級でも活用が可能です。

また、助産師など医療関係者が発災時どのような行動を取るべきか、初期対応手順がまとめられた「母子救護所災害時アクションカード」、妊産婦・母親にどのような支援が必要か把握するための「避難所等母子保健 標準アセスメント票」をもとに、助産師や自治体の関係者が研修や訓練を行なうと、地域特有の課題や連携の必要性に目が向き、平時からより具体的な支援を考えることができます。

いつ来るかわからない災害に備

え、日頃から母子を守る準備を進めましょう。

上記のほか、災害時に妊産婦・乳幼児を守るためのツールは、下記ホームページよりダウンロード可能です。

●ホームページ

<http://honami-yoshida.jimdo.com/>
災害時に次世代を守るためのツール /

